

宮前地区タウンミーティング（要約）

テーマ：宮前地区のまちづくりについて

令和5年2月21日（火曜日）

【市長】 皆さん、こんばんは。このようにアクリル板を設置させていただいています。また、皆さんと十分な距離が取れていますので、マスクを外して挨拶させていただきま。今日は、平日の夜でございます。皆さん何かと忙しかったのではないかと思いますけれども、お集まりいただき誠にありがとうございます。本日の開催に当たり、宮前地区広報連絡協議委員会の会長さんをはじめ、役員の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。宮前地区のタウンミーティングですが、実はコロナの関係で3回延期になっています。松山市で最初の陽性の方が確認されたのが令和2年の3月でしたが、令和3年2月に宮前タウンミーティングを開催したいと思っていたんですが、コロナの状況で開催することができず。そして、去年の1月、また4月も計画したのですが、開催できず。今、だいぶコロナが落ち着いてきたので、宮前で開催することができました。私にとっても久しぶりのタウンミーティングで127回目になります。全国的にも感染者数は減っていますが、松山市でも引き続き、市民の皆さんの安全と安心を守るため、愛媛県や医師会などと連携して、感染拡大の防止に努めています。今日のタウンミーティングも感染防止対策を万全にして開催させていただいています。さて、松山市のタウンミーティングは、私が市長に就任させていただいてから始めています。任期の1期目は、松山市は旧松山、旧北条、旧中島合わせて全部で41地区に分かれますが、この41地区を二巡りさせていただきました。そして、2期目には、この地域別のタウンミーティングに加えて、世代別のタウンミーティング、人生の先輩方に集まっていたのタウンミーティングとか、大学生、専門学校の方に集まっていたのタウンミーティング、高校生の方に集まっていたのタウンミーティング、子育て世代の方に集まっていたのタウンミーティング、そのような世代別のタウンミーティングです。また、職業別のタウンミーティングといいまして、商店街の方々に集まっていたのタウンミーティングとか、農業をやっている方々に集まっていたのタウンミーティング、コロナでかなり経済が傷んでいる状況のときには、状況をよくわかっている金融機関の方々に集まっていたのタウンミーティングなど、地域別、世代別、職業別でタウンミーティングを開催しています。3期目からはこれまで参加された皆さんから、松山市の取り組みを知ることができてよかった、そんな声をいただいていたので、今日も、意見交換の合間に広報タイムを取らせていただいて、現地現場で業務に携わっている市職員から、生活に役立つ情報を紹介させていただきます。このタウンミーティングで頂いたご意見は、できるだけこの場でお答えをして帰ります。ただ、財政的によく考えなければならない、また国や愛媛県と関係する案件は、いい加減な返事をして帰るわけにはいけませんので、一旦持ち帰らせていただいて、1カ月を

めどに必ずお返事するという、聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしないのが松山市のタウンミーティングの特徴でございます。今日は、90分間を予定させていただいています。どうしても肩肘張って緊張すると疲れてしまいますので、あまり皆さん、緊張をなさいませんように、有意義な宮前地区の意見交換ができればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【女性】 たまたま私、JRに乗ってきたところです。駐輪場の整備は本当によい取り組みだと思いますが、あとはトイレがいまだに汲み取り式トイレだったり、トイレがありながら「なるべく使わないでください」という張り紙があるのが寂しいなと思います。私が知る限りでは、最近、卯之町駅がすごくきれいになっています。伊予鉄三津駅も整備されてきれいになっているんだから、JR三津浜駅もどうにかならないかな。多分いずれはなるでしょうけど、駐輪場に引き続き、駅舎全体をきれいにしてもらいたいと思います。それが市長さんか知事さんのどちらに言うべきか分かりませんが、ちょうど今日も思ったので、お願いします。

【市長】 JR三津浜駅ですので、JRにきれいにさせていただくことが大事かと思います。初めて聞いたのですが、あんまり利用しないようになっていうのはどういうことですか。そういうふうに言われたとか張り紙が貼ってあるとかですか。

【女性】 何かそういう内容の文面がありました。いたずらうんぬんがあるので、トイレトペーパーも設置していませんとか。トイレの意味がないみたいな。三津付近は学生の方がよく利用するのに、それでいていたずら書きがどうのという。ちゃんと整備したら、そういう批判もなくなると思う。子供だからこそいたずら心ができて、何かするんだと思う。だからそれは駄目と言うんじゃないくて、やっぱり私は、無人駅になりながらも、すごく素敵になったので、三津も商店街などの活性化で頑張っている方もいるので、移住者の方とかも。そういうことも含めて、三津を活性化するのも無人駅ですね。

【市長】 JRにタウンミーティングでこのようなご意見が出たことをお伝えさせていただきます。トイレトペーパーうんぬんのことも含めてです。

【男性】 ご承知のように松山も人口減少が激しく、空き家が増えています。人間関係の希薄化、つまり、お隣との付き合いが少なくなる中で、空き家の方がどこにいるのか、誰に連絡をすればいいのか全然分からず、庭木がぼうぼうに伸び放題で隣の方に迷惑をかけている。中にひどいのが独居の高齢者で、夏になると自分の庭で立ち小便しているらしいんです。夏は臭いが非常にきつく、蚊が湧いたりするので、私も地域包括支援センターの方と一緒に行ったのですが、他人のことを考えていろいろ言うことも必要だし、また自分が反社会的な行為をしている自覚が少ないのかわかりませんが、例えば介護施設に入っていればどこの介護施設かという情報が得にくいです。確かに個人情報の問題はあると思いますが、目的が明確であれば、ある程度は許可してもいいという気がしま

す。松山市はどのようにお考えでしょうか。

【都市整備部コンパクト・プラス・ネットワーク推進官】 空き家に関しては、松山市も年間 200 件ほど、継続して相談を受けていて、お話を受けたら、まず現地を調査して、調査の結果、周辺に悪影響がある場合には、所有者に対して、改善の助言や指導の文書などを送付して改善の方向で促すようにしています。以前も相談したということで、説明などは何度もお聞きになっていると思うんですけど、特にお住まいの方が居て管理ができていない状況という話もありましたが、空き家も管理されてないとはいえ、個人の財産になりますので、個人情報に関する内容に関しては十分配慮しないとはいけません。地域の方や市も連携して協力体制等を整えていくのが大事なのではないかと考えています。詳細な場所をお聞きして、担当課に確認をするようにします。

【市長】 私たちは、今日 7 時からスタートして 8 時半に終わってもぱっと帰るわけはありません。残っているので、場所など教えていただけたらと思います。よろしくお願ひします。私の方から補足をさせていただきます。今までの空き家での例から考えると、私どもに言うていただくのがよろしいかと思ひます。直接やってしまうとトラブルになることもありますので。市役所で是正や指導することができますので、場所を言うていただいた方がトラブルにはなりにくいと思ひます。個人情報でいいますと、もし大災害が起きたときに、一人の力では逃げることはできない方の情報は、法律のことも考へて相談させていたひいて、情報を提供してもいいとご理解いただいた方には、地区の民協、民生委員の方々とかに提供できる仕組みは作っています。

【男性】 今日は青葉台の水質改善にご協力をお願いしたくて、お話を参りました。現在、青葉台は約 170 世帯が暮らしており、生活用水には専用水道、地下水を使用しています。青葉台専用水道にはカルシウム分などが多く含まれており、非常に硬度の高い水を使っています。そのため、地下から吸ひ上げる水中ポンプや各家庭に送るポンプなどにカルシウム分などが固着し、ポンプを故障させてしまうことがあります。その他にも各家庭ごとに設置している止水栓が固着して動かず、水関係の工事や家庭内の工事ができないとか、エコキュートが詰まってお風呂が沸かせなくなったり、各ご家庭でもトラブルが発生しているという状況です。団地に暮らす市民に安定した水を供給しなければならぬため、青葉台専用水道は外部委託での水質検査やメンテナンス費用として各ご家庭に毎月 3,000 円の負担をしてもらっています。ですが、これで問題解決には至っていません。青葉台約 170 世帯の住民の願ひは全世帯に上水道を引くことです。しかし、現状では、青葉台は約半数の世帯が給水区域外のため、全世帯一斉に上水道を引くことができません。上水道を引くことにより水質が改善され、住民の皆さんの毎月 3,000 円の負担もなくなります。青葉台団地が永年存続し、お子さんからお年寄りまで安心して暮らしていけるよう、青葉台団地への上水道引き込みにぜひ力を貸していただきたく思ひます。上水道の引き込みは簡単なことではないのは重々承知しています。松山市の管

理範囲外ではありますが、ご尽力いただきますようお願いいたします。この先もウィズコロナや少子高齢化など問題が山積みしていただろうと思っておりますが、よろしくお願ひします。

【企画総務課長】 青葉台団地の一部だけが上水道の給水区域であるということで管理がしにくくなったりして不公平感が生じたりするといけなひので、開発業者が団地全体を専用水道として整備して、団地の皆さんで水道組合を運営されている経緯になっています。青葉台団地への上水道の整備は、町内会からも要望を受けています。団地全体を先ほどお話のあった上水道にするためには、どうしても給水区域を広げるための国の許可が必要になってきます。それには、安定的に給水できる水源が必要ということになっています。この水源が確保でき次第、国の許可を得て上水道を整備する流れになっていくと思ひますが、現時点ではそうになっていませんので、ご理解をいただけたらと思ひます。

【男性】 私は県内の大学生で地域創生の分野の学部には所属しています。私自身はボランティア活動が大好きで他地域ではあるのですけれども、地域の方と連携した活動をさせてもらっています。今回ご提案させていただきたいことは、若者の地域の活性化やボランティア活動をしたいと思ひている子のスタートアップというかその最初の支援を何かしていただけないかなということなんです。大学生は地域の方との交流であるとか清掃活動、健康づくりとかいろいろな分野、SDGsも話題にありますけれども、そういった活動をやってみたく思ひている子がすごく多いのですが、それを実際に体験できる機会がない、少ないっていうのが挙げられていて、そういった気持ちを持っているけれども、いざやりたいけれども場所がないんだよねっていう声を友人からも聞いています。そんな中で、例えばワークショップや何か地域づくりの体験プログラムみたいなものがあるれば、そういった若者が気軽に参加できて、そこから新たなグループができて、松山市でも先進的に取り組まれている市民活動推進などの活性化にも繋がっていくと思ひます。ぜひ若者がボランティア活動等に、気軽にというところちょっと言い方が悪いかもしれませんが、参加しやすいような環境作りを考えていただきたいので、意見とさせていただきます。

【まちづくり推進課長】 松山市では登録されたNPOに対して市民活動を進めるための各種必要な資金の助成をさせていただいています。まず、立ち上がりの支援としては40万円を上限に事業費の3分の2を3回まで、成熟促進事業として30万円を上限として、事業費の3分の1まででこれは2回まで、合計5年間支援する制度があります。加えて、平成28年度から、これは若い方向けで小学生から大学生まで、「次世代育成支援」といい、子供たちや若者が自分たちで考えて行動するまちづくり活動を応援する仕組みを作っています。小学生の場合は5万円、大学生であれば15万円を上限に1回限りですけれども支援させていただいています。これらの事業は、市民活動推進委員など専門

家の方にお諮りいただいております。補助制度の説明をしましたが、それ以外にも三番町六丁目にコムズという施設があります。この中に、NPO サポートセンターという施設があり、NPO 活動に対する支援、NPO をやってみたいけどどういったことがあるのか、どんな NPO 団体があるかという相談を受ける体制ができています。例えば、会議室を借りたい、作業スペースが欲しい、NPO をこれから設立したいとか、どういった運営をしたらいいのか、NPO に関するセミナーの開催など、運営力の向上も行っていますし、各 NPO が行っているイベント情報の発信や、市の施設にその NPO の活動を紹介するチラシを配布する活動もしています。また最近では、NPO と町内会やまちづくり協議会の人たちとの連携のお手伝いもさせていただいていると聞いています。松山市でも少しずつですが、NPO の活動が増えています。特に新しい NPO には、若い方が中心に参加していただくのが一番いいですので、その支援を引き続き行っていきます。NPO サポートセンターやまちづくり推進課にお気軽にご相談いただけたらと思います。

【市長】 そういう制度がありますので、遠慮なく使っていただけたらと思います。具体的な例を申し上げますと、先ほどのまちづくり提案制度で認められた小学生グループの提案ですが、コロナ渦で、地域や市民のために働いている方々に、小学生が感謝の気持ちを伝えて市全体が優しさであふれるようにしたいという提案を受けて、いい提案ですねということで、お金もサポートしましょうということで、お金は、例えば市内の金融機関さんや企業さんから寄付をされたものをベースにしてお渡しをするんですが、感謝の気持ちを表したポスターを作って子供たちが市内の学校や病院、公共施設や企業へ配った。また、ポスターと同じデザインのポストカードを作って感染予防を伝えるステッカーと一緒にフジ北斎院店の店頭でお客様にお渡ししたなど、小学生が活動したグループもあります。小学生から大学生まで、もちろん大人の方も支援制度を設けていますので、ちょっとこんなのをしたいと思ったら、どうぞ市役所に相談をしていただけたらと思います。よろしく申し上げます。

【市長】 ちょっと手が止まりましたので、先ほど言えなかったので、空き家のことについて具体的な数字を挙げさせていただいたらと思います。空き家を解体しようと思ったら、お金が必要になりますよね。松山市でちょっと補助を出すことによって、空き家が解体されて、有効に活用されるのじゃないかということで、空き家の補助をつくりました。件数でいうと、制度は平成 30 年にでき、令和 3 年度までで松山市内で延べ 146 件の危険な空き家が解体されました。この補助制度を設けて、だいぶ進みました。ちなみに宮前地区で空き家の相談を受けたのが 37 件あります。ちょっと空き家で困ったという話ですが、37 件のうち 16 件は解決済みになりました。あと 21 件は対応中ですので、皆さんが直接やるとトラブルになってもいけませんので、どうぞ市役所の方に言っていただけたらと思います。担当は住宅課になります。空き家のことで相談があると

ったら、こちらの方で繋がりますので、どうぞこういう件があるのだけど、どうしたらいいでしょうかということがあるら遠慮なく相談をしていただけたらと思います。もしこういうことができなかつたとしても、こういうやり方だったらありますよとか。他の地区だったらこういうふうに行った例がある、そういう例をお示しすることもできますので、遠慮なく言っていただけたらと思います。

【男性】 解体費用の助成はございますか。

【都市整備部コンパクト・プラス・ネットワーク推進官】 解体工事費用の5分の4、かつ上限80万円です。

【女性】 質問ではなくて先ほどの学生の方に対してですが、どこの地域もそうだと思いますが、民協、社協、地区防災、どの組織にも若者の力が足りていません。自分たちの力でということではサポセンの方で新しくNPOを立ち上げるのもおすすめはしますが、まずおばちゃんに言ってきてください。それからNPOを作ってサポセンに繋げることもできますし、地域塾とか、またこの地域って中予地区のフードバンクとかフードドライブとかフードパントリーの拠点もあるんです。宮前地区でもその関係でいろいろな学生に手伝ってもらっているんですけど、大学生が抜けている部分があって、よかつたらこの宮前地区に住んでいる大学生を紹介してください。

【市長】 これこそまさにいい意見交換なのかなと思います。今、言われたように実は地域の団体さんって実際に動いてくれる人、そして若い世代の人の参加を欲しているんですよ。そういう中で良いマッチングができればと思いますので、地区の方に相談されるのもいいかと思います。

【男性】 民協会で悩んでいることがあります。高齢化率が今32%、増えてきていて4,600人ぐらいの方がおられると。その中でも17%ぐらいの方が独居であると。こういう方々の見守り活動をやるのは私どもの役割ですが、私も長年やっていますけれども、だんだん見守り件数が減っています。それは要望がなかなか出てきづらくなってきています。見守り活動があまり独居の方で1人の方、困っている方になかなか伝わらないのかなと思っていて、民協会としても年に1回は地区社協と連携して、2,300人ぐらいに記念品を配ったりしますが、なかなか声が出てこないのもあり、また50、60人の方は毎年、どこに行ったか分からない、連絡がつかない。地区のそういう見守りが必要とされる方々の広報活動は、私どもだけでは難しいと感じていて、見守りが必要だと思うのに、なかなか声が出てこないのも、何か行政と連携を取れて、本当に困っている方を見守り活動できる仕組みがあればいいのかなと。6、7年前に行政の方からシルバー人材センターの方を活用されて、調査をしたことがありますよね。それで、実際こういう形で出てきましたよということで再度見直しを開始したとかですね。そういうことも、継続できないのかなと。私も年に1回は活動していますが、分かりづらいいので何か連携が

とれるような仕組みづくりができないかという相談です。

【保健福祉政策課長】 松山市では見守りネットワークを実施していて、金融機関、電気ガス、水道などの26の事業所にご協力をいただき、外回りの工作中などに、郵便物がたまっている、新聞がたまっているとか異変をもとに、松山市に連絡をいただいて、松山市と松山市社会福祉協議会の職員、それから民生委員さんと現地を訪問させていただいています。また、独居高齢者見守り制度でも414人が定期的に訪問させていただいています。その他に愛の一声訪問事業といい、市社会福祉協議会で乳酸菌飲料を77歳以上の一人暮らし等の方を対象に、原則として週2回配布する事業なども行っています。先ほど言われていた6年ほど前に独居高齢者の調査をしたことがありました。確かにマンションなどがあって把握しにくいという声もあり調査をした経緯もありました。現在、地域包括支援センターを市内13カ所に設置しており、宮前地区ですと地域包括支援センター三津浜が対象になります。同センターでは地区ごとに戸別訪問をして、そういった独居高齢者の把握などもしていますので、民生委員さんなので既に地域包括支援センターとも連携をされていると思いますけれども、私どもから、地域包括支援センターへ効果的な高齢者の新たな把握などについて、相談しておきますので、今後また連携して独居高齢者等の対策に取り組めればと思っています。

【市長】 今申し上げたように、やはり独居高齢者、今の日本や愛媛、松山を築いてくださったのは人生の先輩方ですので、できる限り大事にすることが大切だと思いますので、いろいろな方策で重層的にやっているのが一つの方向性ではないかと思います。今日、時間があれば、松山市が来月から全市域で始めるふれあい収集のことについても述べさせていただいたと思います。このふれあい収集も声掛けをさせていただいて、独居の方が体調が悪くなったりすることにも備えるのがふれあい収集ですので、紹介できればと思います。

広報タイム①「家具転倒防止対策の必要性」

【男性】 松山市で作っているハザードマップを見ても、宮前地区は高潮や津波の際に避難する所がないです。避難所が全部使えませんという表示になっています。福祉避難所等はあるんですけども、避難する所がない現状になっています。市長が先ほど言われた通り、3回延期になったことで、状況が変わり、松山学園が来年度かな、撤去、なくなるとの報道発表がありました。法務省管轄で国管轄ですけども、あの松山学園の跡地をそのまま避難所として設定できないかということと、併せて、私、公民館のお手伝いをしています、宮前公民館が手狭になっています。今回の宮前地区のタウンミーティングは、三津浜地区の場所を借りている現状もあって、松山学園の跡地に宮前公民館のサテライトオフィスのような機能を持たせて使わせていただくことが可能なんじゃないかと思っています。こんなこと即答できませんので、可能性の検討をいただけた

らと思います。

【生涯学習政策課長】 松山学園の跡地のサテライト化は、現時点で言えないんですけれども、公民館について、従来からも聞いていることから、今の場所からの移転についてお答えさせていただいたらと思います。公民館や学校などの建物は、適切な維持管理をするために、令和2年4月に学校施設等の長寿命化計画を策定し、現在その計画に基づいて老朽化が進んでいる公民館等から大規模改修を進めています。今年度、番町公民館の改修が終わって41全ての公民館で耐震化が完了しています。宮前公民館は、昭和51年に建築して年数的には47年ほど経っている鉄筋コンクリート構造の建物です。平成16年に実施した耐震診断の結果では、定められた耐震性能を満たしていることから、建て替えという予定はなく、適切な時期に大規模改修をして長寿命化やバリアフリー化を進める予定となっています。最近、要望等があるのですが、宮前公民館をもし改修するときが来ましたら、エレベーターの設置なども、皆さんのご意見をいただきながら、利用しやすい施設にしていきたいというのが今の計画上の位置付けです。

【市長】 私から補足させていただきます。冒頭で地図を表示して、小学生の安全な通学路で紹介させていただきましたが、松山学園の上手、東側といたしましょうか、県立松山西中等教育学校があります。県立にはなるんですが、一時避難所として運動場を、そして避難所として体育館を松山市に使用させるということで松山市と協定を結んでいます。ですので、松山学園のすぐそばにある松山西中等教育学校に避難となりますので、ご利用いただければと思います。また皆さん、東日本大震災の映像を見られて心配されたと思いますけれども、私、防災士です。そういう中でお話をさせていただきます。ご存知だと思いますが、時間は、瀬戸内と東日本大震災のエリアとで違うことをお伝えさせていただきます。南海トラフ巨大地震が発生した場合、心配されると思いますが、松山港では、津波で海面が約1m上昇するのが約2時間後、そして2m上昇するのは約3時間後と想定されていて、避難するためには一定の時間がござります。ですので、津波が到達するまでに安全な高台などに避難していただくのが大事です。今、私が2時間後とか3時間後と申し上げましたが、私も東日本大震災時に南三陸町が松山市の支援の窓口になりましたので、2度ほど行かせていただいて、南三陸町長ともいろいろ話をさせていただいていますが、できるだけ早く逃げさせていただくことが大事です。そして、もし避難が遅れた場合には、高いビルに避難していただく垂直避難という方法もありますので、もし逃げ遅れた場合には利用していただくことが大事かと思います。あの東日本大震災のような、もう何分後というときに、あれだけの津波が来るわけではないと。専門家が見立てて、これだけの時間的な余裕はありますので、早めに逃げさせていただくことをご理解をいただいたらと思います。松山市としても、今、県立松山西中等教育学校を申し上げたように、しっかりと備えていきたいと思っていますので、ご理解をよろしく願います。

【男性】 先ほどご説明がありました件について、補足させていただきます。突っ張り棒をされる際には、天井の裏が構造的に非常に弱くなっていますので、棒の間には板を置いて設置するように心掛けてください。そうすれば上に押し上げる力に対しての耐久力が増しますので、その点ご留意をお願いします。それから今、市長から話がありました松山西中等教育学校について、避難場所の同意は私どもの防災会で承諾を得ています。それから、見解が違うかもしれませんが、私どもの認識では、南海トラフ地震で、松山では地震発生後 70 分後に 3.8m の津波が来ると認識しています。ただ 3.8m というのは、東京湾の満潮時の潮位を基準に言っていますので、松山の満潮時間がどれだけかというので異なっています。したがって、大雑把ではございますが、4m 以上の高さのある所へ垂直避難をいち早くしていただくというのが、津波が起こった際の対策ではないかと思います。それから、津波というのは非常に波長が長くございます。特に深海で津波が発生したとき、その発生したところでは飛行機と同じぐらいの速さで津波が伝播するそうです。日本国に近づいたときには新幹線ほどのスピードで押し寄せてくるそうです。ですから津波の波長の大きさによる水の圧力、これは相当なものでございますし、津波が襲来したときの建物の配置によって、津波の高さ、あるいは津波の威力も違ってきますので、津波の発令が出たときには、いち早くより高いところへ避難する、これが大事なことでございます。皆さん、徹底をよろしくをお願いします。

【防災・危機管理課長】 いつもご支援いただきありがとうございます。今ご説明いただいた津波の高さについて、少し補足をさせていただいたらと思います。先ほど市長からも申し上げました、まずは 2 時間後に 1m が来る、3 時間後に 2m が来るという話は、先ほど言われた 3.9m が来るのとちょっと時間が違うな、あと高さが違うなと感じたと思うんです。まずは平均の潮位があって、そこから高さは満潮があつたり干潮があつたりします。大潮があつたり小潮があつたりする。そのときの海面の高さの一番悪いところが、まずは平均海面よりも 1.9m 上がったとき、プラス、先ほど市長が申し上げた 2m の津波が来るということで、足すと 3.9m。一番悪い状況のときに 3.9m の津波が来る可能性があるということです。南海トラフの巨大地震が発生し、大津波警報が発令され、直ちに 3 時間後に 3.9m が来るっていうのではなく、あくまでも津波の高さは 2m。そのときの潮位の高さによって 2m のものがどれぐらいで来るかになると思います。

【市長】 今いろいろな数字が出てきて、ちょっと頭の中が混乱された方もいらっしゃるかと思います。皆さんのご家庭には城西地区の防災マップ、宮前地区が入っています。中心部エリアとか、城東エリア、城北といろいろありますけれども、まつやま総合防災マップは去年、令和 4 年 3 月に、皆さんのご家庭にお配りしています。もしなかったら、市役所や支所でお渡しできますので。もちろん、この中に総合的な情報が載っていますので、見ていただいたら手元でいろいろなことが確認できますので、活用いただいたらと思います。

広報タイム②「災害用マンホールトイレ」

【男性】 今、地震の話で最大で3mの津波が来ると聞いたんですけど、そんなときに頼りになる施設は警察にしても消防にしても、避難所になりそうな小学校二つ、中学校一つ、公民館、全部海のそばにある。それを移転するとなったら大変な話なんでしょうけれど、そういう話があるのでしょうか。警察署は海のそばで1mの高潮がきたら、全部機能しなくなるんじゃないかと思います。

【消防局総務課長】 西消防署は、皆さんご存知の通り海岸のすぐそばにあります。まず初動として、震災初動対応マニュアルを各消防署で作成しています。地震がきて津波がくると予想された時点で、古三津の高台に車両を全部移動して、そこを拠点とします。今、トルコで大地震があり、そのとき72時間の壁と言われている、その72時間で人命救助ができるように対応します。

【市長】 その他、各分野で何か言えることありますか。これはいい加減な返事をするわけにはいけませんので、1カ月をめどにきちんと返答させていただきます。

【男性】 今日は子どもたちから聞いた声ということでお話をさせていただきます。電柱の防犯灯について、冬至や暗い時期には学校を出るときは明るいですが、通学に30分から40分かかる子どもたちもいます。暗い中、子どもたちが帰るのです。今、電柱に付いている防犯灯は、蛍光灯とLEDの2種類があると思いますが、LEDに換えていくのは、私が聞いているのは、今のものが壊れたときに換えていくとお伺いしていたり、LEDにすると明るすぎることもあるので、電柱の防犯灯がついている方たちからすると、ちょっと眩しいこともあると思いますが、昨今の電気代の高騰もあり、地域で負担をされていてLEDにすると安くなるんですが、取り換えにもお金がかかると思います。ただ、中学生が帰る時間帯、今回のテーマにも暮らしの安全安心があるので、少しでも明るいなか帰れたり、暗いから怖いとか、中学生になるとさらに時間が遅くなって、高校生はさらに遅くなると思います。電柱の防犯灯を明るくすることができないかと思い、今日お話をさせていただきました。

【市民部長】 防犯灯は、蛍光灯タイプのものやLEDタイプのものでございます。先ほどお話の中にも出ましたように蛍光灯の防犯灯の器具が故障したり、明るさが不足したりしている場合にLEDに順次交換をしています。学校の近くの防犯灯が暗い、あんまり明るくないというお話ですが、もしその明るさが不十分だと感じる場合は、町内会で維持管理をいただいているので、町内会長などから明るさが不十分なところがあるというご連絡をいただいたら、現地へ状況を確認に行き、照度、明るさを測っています。基準以下の照度であると分かりましたら、LEDの器具に取り換えさせていただきます。順次そのような形で一定の明るさを保つ防犯灯を付けていますので、LED化を一気

に進めることは、費用的な問題もありますので、そのような形で進めていきたいと思っています。器具など新しく防犯灯を設置するのは松山市の防犯協会からの補助で、全額お出しをする、維持管理は町内会でやっていただくという役割分担で共に安全なまちづくりに取り組んでいますので、よろしくお願いします。

【市長】 LED で電気代が節約できるのは私どもも分かっています。でも、市内に約 2 万 9 千灯の防犯灯があり、暗くなっていたり、故障しているものは取り換えさせていただき、LED に変えますが、まだ使えるものは使っていくのが今の方針です。電気代が LED になってだいぶ安くなるのは、把握しています。他の地域で電気代も上がっていますので、総合的に考えながらやっていきたいと思っています。

【女性】 宮前地区タウンミーティングが 2 年ぐらい延びて今になったのですが、事前にタウンミーティングに参加するために疑問、質問等を書いて、出していたじゃないですか。それで今回集まったと思いますが、それについての答えは、事前に何か文書でいただくことはできなかつたんですか。今、もう 1 回皆さん、ここで質問していると思うんです。その時間はすごくもったいないと思うんですよ。1 時間半しかない中で、事前にアンケートをとって、どういったことを皆さんが疑問に思っているかをわかっていてその答えは一切なく、また同じことを質問して、それに市長さんが答えていただく。すごくわかりやすいんですけども、事前に出した質問の答えはいただけないでしょうか。

【市民部長】 タウンミーティングを担当させていただいています。事前のご説明が十分伝わっていなかったのかもしれないと申し訳ないですけども、このタウンミーティングの場での発言は自由にしていただくことになっています。皆さんがどのようなことを普段考えていらっしゃるのかを知りたいので、アンケートはとらせていただいているんですけども、その出した質問に縛られるわけではなくて、書いてなかったことでもここで言えますし、書いていたが他の方が言われて、他の質問に変えておっしゃるとか、そのような形でご発言いただいています。出てきた意見は、ここでお答えもするんですが、十分でない答えの場合もございますし、改めてここで出た意見交換についてしっかりした回答を後日文書で皆さんに送らせていただいています。そのような運営をさせていただいていますので、よろしくお願いします。

【市長】 何か今日聞きたいことがあったのですか。どうぞ聞いていただいたらと思います。

【市民部長】 質問していただけたらと思います。

【女性】 全員がみんなの前で質問できるとは限らないと思うんです。事前にアンケートを出したのだから、その答えを一回いただけたらと思うんですが。

【市長】 先ほど市民部長が申し上げた通りになりますが、ここでは言いにくいことがあるというのであれば、いつもタウンミーティングの最後に申し上げているんですが、

松山市には「市長へのわがまちメール」という制度がございます。それをご利用いただいてもよろしいかと思えます。別に事前の質問をしているから、それ以外のことは質問してはいけないというものではありません。また、わがまちメールもありますので、ご利用いただいたらと思えます。

【女性】 私は自主防災連合会の役員であると同時に、子ども会の役員でもあります。両方の立場から質問させていただきます。私たちの子どもの活動を支援してくださるものの中に、子育て支援と安全安心を目的に、松山市青少年育成市民会議が運営する情報配信システムの MAC メールがあり、保護者の日ごろの連絡網として機能していると思えます。一方、自主防災の活動の分野にはこうした情報配信システムがないため、役員や地域の代表者の連絡は郵便に頼らざるを得ず、昨今の配送事情もあり、とても苦勞しています。そのような中、防災・危機管理課から防災士である私宛にメールアドレスの登録の依頼がありました。ここで質問ですが、防災士の登録システムは、情報配信システムのような機能を有し、防災士以外の地区代表者を含む宮前地区自主防災連合会の連絡網にも活用できないでしょうか？

【防災・危機管理課長】 ご質問にありました MAC メールですが、災害時の緊急情報などどうしても伝えたい情報は、この MAC メールを我々も活用させていただいて、防災・災害情報など送らせていただいています。自主防災の普段の活動に使うことは、なかなか難しいです。この MACメールの目的が、児童・生徒の保護者のメール交換の場になっていますので、そういった使い方を直ちにわかりましたということには、なかなかないと思えます。もう一つご質問いただきました、防災士の方のメールというのは今のところ、私どもの方から個人宛にそれぞれメールを送らせていただいて、個人から返していただいたものについて、それぞれ連絡調整させていただいています。ご提案いただいた全体で一斉に送ることは十分できるかと思えますが、そういった使い方でもよろしいでしょうか？

【女性】 費用とか手間とかも省けるので、皆さんにメールが届いて、見ていただけたらと思えます。

【防災・危機管理課長】 わかりました。8,000人を超える松山市の防災士登録がございますので、その全ての方のメールを把握しているわけではないですが、できるだけそのような使い方をさせていただくように。でも中には、どうしても郵送で送らないといけなというものもあります。そういったものは、従来通りさせていただいたらと思えます。

【市長】 私も防災士の1人です。松山市に8,000人、全国一の防災士がいますが、その連絡網はあまり考えたことがなかったので、新たなご提案をいただいたと思えました。今いろいろな新しい技術が出てきているので、その技術を使いながら、皆さんの生活が快適に便利になれば良いと思えます。新たな視点をいただき、ありがとうございます。

た。

【男性】 最初にお礼を言いたいと思います。ふれあい収集が3月からスタートしますが、宮前地区は今年度からスタートさせてもらい、独居老人の方が助かったと言って喜んでいきます。ありがとうございます。たまたま、協議会の定例会が先週あって、その中でふれあい収集のパンフレットを、清掃課が委託介護事業所に配布している資料をいただきまして、勉強会をしました。そうしたら、これは町内会の回覧板で回した方がいいんじゃないかと。僕は町内会長とか広報委員が持っていたらいいので勉強会をしたんですけど、本当は回覧板で回したら皆さんも、広報まつやまに出ていたのはわかっていたんですけど、あの小さい記事では皆さんの目に届いているかわかりませんので、宮前地区で回覧板で回したいので確認を取り、今後どうしていくかということも教えてもらえたらと思います。よろしくをお願いします。

【市民部長】 では清掃課にご要望を伝えますので、確認してご連絡させていただきます。

【市長】 今日久しぶりのタウンミーティングだったのですけれども、予定の8時半となりました。ふれあい収集のことについて補足して、最後とさせていただいたと思います。皆さん、ご存知のように高齢化も進んで、また独居の方もいらっしゃいます。日々のごみ出しに困るという方も出てきました。まず、モデル地区として、3地区を市内で選びました。北条の河野地区は、一戸建ての家がある程度距離が離れてある、久米地区は、マンションと一戸建ての住宅が点在している、そして、垣生地区は細い道が多いところ、その3地区を選んで、ふれあい収集をどんなふうにかテストさせていただきました。そして、41地区に広げていくためには、中心部だとどうだろうと。番町、東雲地区はマンションが多いですね。山の方で、日浦、五明地区ではどうだろう。そして沿岸部の高浜、宮前地区ではどうだろうということで、合計9地区でやらせていただいて、ノウハウもできましたので、来月3月1日から松山市全域41地区で開始させていただきます。対象はごみ出しが難しい、65歳以上の一人暮らしの方、また要介護1以上、また身体障害者手帳の等級が1級、2級の方などが対象になります。申し込みたいという方がいらっしゃいましたら、ご本人または代理の方が電話で、清掃課になります。市役所に連絡いただけたらと思います。電話をいただけたら、直接職員がご自宅を訪問し、説明させていただいて、その場で申込書に記入させていただきます。支援が必要な方にご案内していただければと思います。このように、できるだけ松山市では寄り添った対応をしていきたいと思っています。

【市長】 今日、いろいろなお話をいただきましたけれども、どうぞこれからも遠慮なく。市役所とありますが、市民の皆さんの役に立つところで市役所じゃなきゃいけないと思っていますので。どうせ市役所に言ったって変わらんわいではなくて、こういうケ

ースもありますよ、こういうやり方もありますよと提示できることもありますので、どうぞ敷居を高くなさらずに私どもに相談していただけたらと思います。たちまちできること、検討させていただくとさまざまあると思いますが、できるだけ市民の皆さんに寄り添った対応をしていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願ひします。それでは時間になりましたので、このあたりで今日のタウンミーティングを終わりとさせていただきます。本当にありがとうございました。